

ゴッホ「秋の風景」1885年



ミレー・クールベ・モネ・ピサロ・ルノワール・ゴッホ・マティス

French Landscapes from The Fitzwilliam Museum, Cambridge

ケンブリッジ大学 フィッツウィリアム美術館所蔵

# フランス近代風景画展

'88年10月29日(土)～11月27日(日)

高松市美術館

● 開館時間 午前9時～午後5時(入室は午後4時30分まで) ● 休館は月曜日

共催 ● フィッツウィリアム美術館、朝日新聞社 後援 ● 外務省、文化庁、ブリティッシュ・カウンシル 協賛 ● 富士通株式会社  
(入場料) 一般 900円(700円) 高・大生 600円(450円) 小・中生 300円(200円) ( )内は前売り、団体20名様以上2割引



モネ「春」



ルノワール「突風」



ピサロ「ポントワーズの庭、皿を洗う少女」

## ●フランス近代風景画展

英国のケンブリッジ大学付属フィッツウィリアム美術館は、英国でも最も古い公共の美術館の一つです。1816年、第7代フィッツウィリアム子爵リチャードが同家のコレクションと美術館の建築費10万ポンドをケンブリッジ大学に寄贈したのをきっかけに創立され、その後も様々なコレクターの寄贈を受けて、世界でも有数の質の高いコレクションを誇るようになりました。同館のコレクションは、エジプト、ギリシア、ローマ、から中世、ルネサンス、近代へと多岐にわたっていますが、今回はその中から特に19世紀から20世紀に至るフランス風景画に焦点をあて、41作家による80点の作品を展覧します。19世紀初頭の官展（サロン）派に始まり、バルビゾン派、レアリスム、印象派を経て20世紀のマティス、ルオーに及ぶフランス近代風景画の展開を、系統的に鑑賞できる内容となっています。

## ●常設展のお知らせ

期 間：10月13日(木)～12月25日(日)

〈常設展示室1〉

### ・戦後日本の現代美術

1950年代後半から60年代にかけての美術界に大きな影響を与えた、「アンフォルメル」と「具体美術協会」の運動に参加した作家たちに焦点をあてています。

### ・20世紀世界の版画

前期（10月13日～11月20日）は、ピカソ「貧しき食事」、マティス「横たわるオダリスクと果物鉢」など20世紀を代表するヨーロッパの作家たちの作品を、後期（11月22日～12月25日）は、ウォーホル「マリリン」などポップ・アートを中心とした戦後のアメリカ美術を展示します。

〈常設展示室2〉

### ・漆 芸

江戸時代末期の玉椿象谷を祖とし、その一門から明治・大正期の名工たちに引き継がれ、人間国宝の磯井如真、音丸耕堂らによって新しい展開をみせた讃岐漆芸の流れを、時代をおって展示しています。

### ・金 工

近代工芸界の改革者であった北原千鹿と、彼が中心となって活動した「无型」および「工人社」のグループに参加した作家たちの作品、また人間国宝・内藤四郎のすぐれた金工の数々を紹介します。



ピカソ「貧しき食事」

## ●美術講座のお知らせ

期 日：11月19日(土)～20日(日)（2日連続）午前10時～午後4時

ところ：高松市美術館

講 師：嶋本 昭三

〈元具体美術協会会員、現A U（アーティスト・ユニオン）事務局長、京都教育大学教授〉

テーマ：「世界とのネットワーキングにおける前衛」

受 付：11月5日より電話受付 ☎ (0878) 23-1730

高松市美術館

〒760 香川県高松市紺屋町10-4

☎ (0878) 23-1711

テレフォンサービス ☎ (0878) 23-1500

富士通